

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
(系統性のある支援研究事業)
成果報告書(概要版)

実施機関名 (白子町教育委員会)

1. テーマ

発達障害の可能性のある児童生徒に対する学校間の移行期における適切な引き継ぎシステムの構築

— 白子町版 個別の指導計画・個別の教育支援計画を活用して —

2. 問題意識・提案背景

これまで2年間の早期支援研究事業(文部科学省委託事業)への取組により、白子町内の通常学級における発達障害の可能性のある児童生徒への支援は、かなり進んできている。また、進級・進学に際しての当該児童生徒の引き継ぎについても、学校差はあるものの、おおむね適切な引き継ぎが行われるようになってきた。

しかし、中学校から高等学校への引き継ぎについては、義務教育と高等教育の違いや白子町内には高等学校が存在しない等の事情から、ほとんど行われていない。このため、高等学校へ進学した後に発達障害の可能性のある生徒の理解に時間がかかり、当該生徒・保護者と学校が、共に苦勞する状況が見られた。

そこで本年度は、これまで取り組んできた前在籍校(白子町内の小中学校)での早期支援への取組をますます充実させると共に、蓄積された前在籍校での支援情報を、後在籍校へ適切に引き継げるように、その方法を模索し確立する事が大切だと思われる。

3. 目的・目標

白子町版の個別の指導計画「ひまわりステップ1」の一層の改善を図り、多忙な学級担任にとって取り組みやすく、しかも児童生徒や保護者との関わりを大切にしたい、実効的な教育支援シートを作成する。

また、白子町版の個別の教育支援計画「ひまわりステップ2(連携)」を作成し、これを日頃の個別の教育支援計画として使用すると共に、卒業学年では保護者・本人の承認を得て上級学校への支援連携シートとして使い、文書による確実な連携を行う。加えて、前在籍校から後在籍校への支援情報の共有について、いつどのように行うか、連携システムを構築する。

そして、高等学校の特別支援教育について、その実態を確かめ必要に応じて支援協力をする。

4. 主な成果

前在籍校では、「ひまわりステップ1」と名付けた白子町版の個別の指導計画の作成により、発達障害の可能性のある児童生徒がきちんと把握され、その特性や支援法、保護者の関わり状況等が明らかになってきた。お互いの信頼関係が培われてきている。

前在籍校から後在籍校へ、「ひまわりステップ2（連携）」（白子町版の個別の教育支援計画）を使って、文書での引き継ぎシステムを構築した。

白子中学校と千葉県立茂原樟陽高等学校・千葉県立大網高等学校の連携状況が確実に進展しており、3月中旬には、各学校の教頭・特別支援教育コーディネーターが一堂に会し、生徒の状況について口頭で引き継ぎを行うことができた。

継続支援研究地域運営協議会は、7月・10月・1月の3回実施され、植草学園大学准教授を始め東上総教育事務所の指導主事、当該校の教頭・特別支援教育コーディネーター等が参集し、充実した話し合いが行われた。

5. 指定校における取組概要

(1) 「ひまわりステップ1」（白子町版個別の指導計画）の充実

ア 取り組みやすく、書きやすい「ひまわりステップ1」の改善

- ・チェックとメモから始める（当該児童・生徒の特性、支援方法の把握等）

イ 本人・保護者と学級担任との連携

- ・きめ細かな相談（支援の提案・合意・改善等）

ウ 「特別支援教育推進のトライアングル」（校内複数配置の特別支援教育コーディネーターと特別支援教育支援員の三者等による会議）の充実

- ・「ひまわりステップ1」の検討、支援体制
- ・時間割の中に1時間の活動時間の確保（会議の時間、巡回時間の確保等）

(2) より良い連携「支援のバトン」

ア 「ひまわりステップ2（連携）」（白子町版の個別の教育支援計画）の作成

- ・「ひまわりステップ2（連携）」は、白子町版の個別の教育支援計画であると同時に、本人・保護者の承認を得て、上級学校への連携シート（「支援のバトン」）としても使用する。

イ 町内の保育所・小学校・中学校の連携に加えて、高等学校との連携（引き継ぎシステム）の構築。

- ・1月：当該児童生徒のうち、上級学校に文書（「ひまわりステップ2（連携）」）で引き継ぐ者の検討、候補者の決定
- ・2月：上級学校に文書で引き継ぐ者及びその保護者との面談の実施
- ・3月：面談の結果、文書による引き継ぎに同意を得られれば、合格発表後「ひまわりステップ2（連携）」による引き継ぎ実施
- ・3月：上級学校とのコーディネーター会議の実施（情報交換）

(3) 高等学校における特別支援教育の充実

ア 特別支援教育の講演会の実施

10月17日 於：大網高等学校 講師：植草学園大学 加藤准教授

イ 教職員への実態把握アンケートの実施 9月

(本研究に関係する保育所・小学校・中学校・高等学校の全教職員)

(4) 支援を支える組織・広報の充実

ア 学校間連携コーディネーターの配置 (2名)

・月1～3回程度、町内の3保育所・3小学校・1中学校・2県立高等学校を訪問。
校内支援委員会 (特別支援教育推進のトライアングル) 等への参加

・教職員への実態把握アンケートの作成、実施、集計、考察、報告

・講演会の企画、推進、支援

・就学・進学相談 他

イ 中学校 (1校)・高等学校町内 (2校) による教頭・特別支援教育コーディネーター会議の開催

ウ 継続支援研究地域運営協議会等の開催

エ 「はじめの一步」(特別支援教育広報誌) の発行

6. 今後の課題と対応

後在籍校である県立高等学校において、本格的に特別支援教育を進めるにあたり、その第一歩である個別の指導計画や個別の教育支援計画を開始する基準について、チェックリストによる判断 (担任の判断) や学年会議等による判断等、複数の入り口を具体的に提示していく。

「ひまわりステップ2 (連携)」(白子町版の個別の教育支援計画) を使った文書での引き継ぎについては、システムは作ったものの、本年度は本人・保護者の承認が得られなかった。今後、ますます生徒本人や保護者との信頼関係を深め、文書での連携に努めていく。

また、情報交換に有用な前在籍校と後在籍校のコーディネーター会議は、1中学校と2高等学校の会議ということで、今のところ学校数が少なくその有用性も満足できるものではない。今後、近隣市町村との連携を進め、協賛する学校を増やしていく必要がある。

発達障害の可能性のある生徒の支援に取り組んでいると、当該生徒について生徒指導的な指導が同時に行われていることがあり、本人にとって分かりにくい支援・指導ではないかと思われることがある。今後は、生徒の状況によっては、特別支援教育担当と生徒指導担当が当該生徒についての情報を共有し、協力して適切な支援・指導をしていけるようなシステムを構築していく。

7. 指定校について

【前在籍校】

(中学校)

指定校名：白子町立白子中学校											
	第1学年			第2学年			第3学年				
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	59	2		72	3		86	3			
特別支援学級	1	2 (全学年で)		3	2 (全学年で)		3	2 (全学年で)			
通級による指導 (対象者数)	—	—		—	—		—	—			
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	17	1	1	1	1	1	1	0	25

※特別支援学級の対象としている障害種：知的、情緒

※通級による指導の対象としている障害種：

【後在籍校】

(高等学校)

指定校名：千葉県立茂原樟陽高等学校										
学級数及び児童生徒数										
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
全日制	生産技術科	41	1	40	1	40	1			
	生産流通科	40	1	41	1	40	1			
	緑地計画科	41	1	39	1	40	1			
	電子機械科	40	1	38	1	37	1			
	電気科	39	1	40	1	40	1			
	環境化学科	40	1	37	1	36	1			
定時制	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
教職員数										
校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
1	2	56	2	12	(1)	6		1	20	100 (101)

(高等学校)

指定校名：千葉県立大網高等学校										
学級数及び児童生徒数										
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		計
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
全日制	普通科	80	2	78	2	75	2			
	生産技術科	40	1	37	1	37	1			
	生物工学科	42	1	35	1	40	1			
	食品工業科	39	1	38	1	40	1			
	農業経済科	38	1	34	1	34	1			
定時制	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
教職員数										
校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	A L T	事務職員	特別支援教育支援員	スクールコーディネーター	その他	計
1	2	56	1	5		5		1	12	83

8. 問い合わせ先

組織名：千葉県長生郡白子町

- (1) 担当部署 白子町教育委員会教育課
(2) 所在地 千葉県長生郡白子町関5038-1
(3) 電話番号 0475-33-2144
(4) FAX 番号 0475-33-7461
(5) メールアドレス kyouiku@town.shirako.lg.jp